

事業概要

応募No.	9		
事業主体	東京都建設局	実施都市名	東京都杉並区・三鷹市
応募者名	東京都第三建設事務所・北多摩南部建設事務所		
ふりがな 事業名称	とうきょうとしけいかくどうろほうしゃだい5ごうせん、みたかとしけいかくどうろ3・2・2ごうとうきょうはちおうじせんせいびじぎょう 東京都市計画道路放射第5号線、三鷹都市計画道路3・2・2号東京八王子線整備事業		
事業概要 (400字以内)	放射第5号線は、千代田区麴町から杉並区久我山へ至る延長約15kmの都市計画道路であり、東八道路の一部を形成する三鷹3・2・2号線は、三鷹市牟礼一丁目から同市大沢三丁目へ至る延長約6kmの都市計画道路である。両路線は、区部と多摩地域とを結ぶ、東西方向の大動脈を形成する重要な幹線道路である。 このうち、杉並区及び三鷹市内の延長約3.6kmの区間については、平成16年度に整備に着手し、令和元年度に全線開通した。本事業により、東西方向のアクセス性が向上するとともに周辺交通の渋滞緩和等、交通の円滑化が図られた。 景観と機能性を考慮した騒音対策として、透過式遮音壁や築堤式植樹帯の整備を行ったことにより、視認性や沿道の景観向上にも寄与した。 ＜事業経緯＞ 昭和21年3月 放射第5号線都市計画決定 昭和37年7月 三鷹3・2・2号線都市計画決定 平成24年度 工事着手 令和元年6月8日 4車線開通		
事業規模	事業延長	3. 6km	
	幅 員	30m～60m	
	事業期間	平成16年度～令和3年度	
	事業費	約540億円	

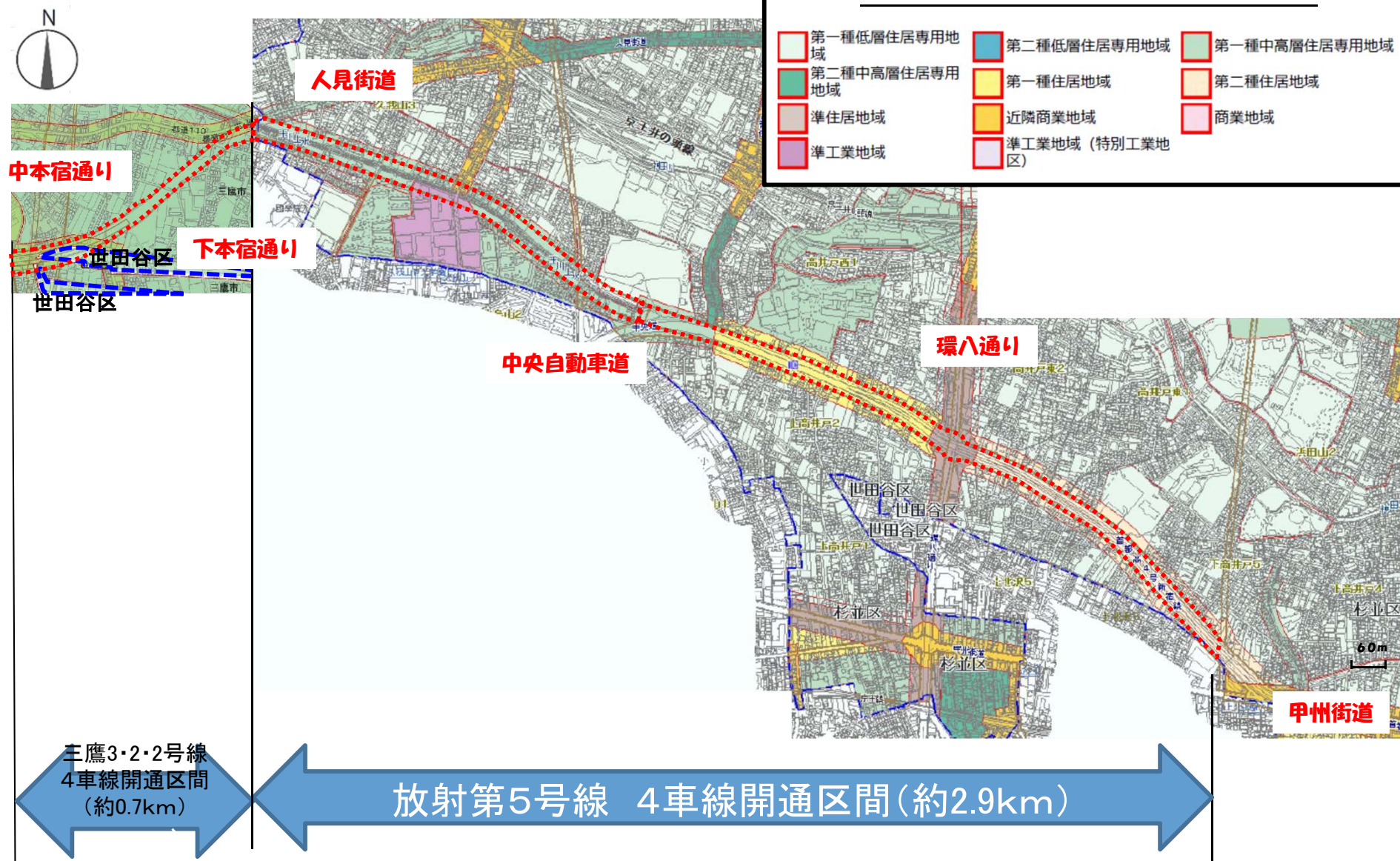
事業位置図

放射第5号線・三鷹3・2・2号線
交通開通区間 約3.6km



凡	例
	交通開通区間
	主な道路
	鉄 道
	駅
	河 川
	高速道路

都市計画図(用途地域図)

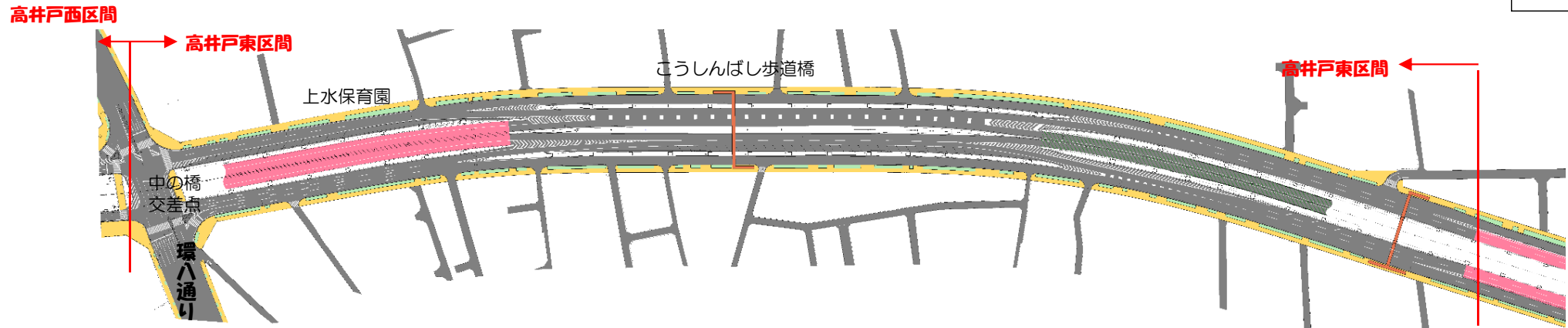


平面図

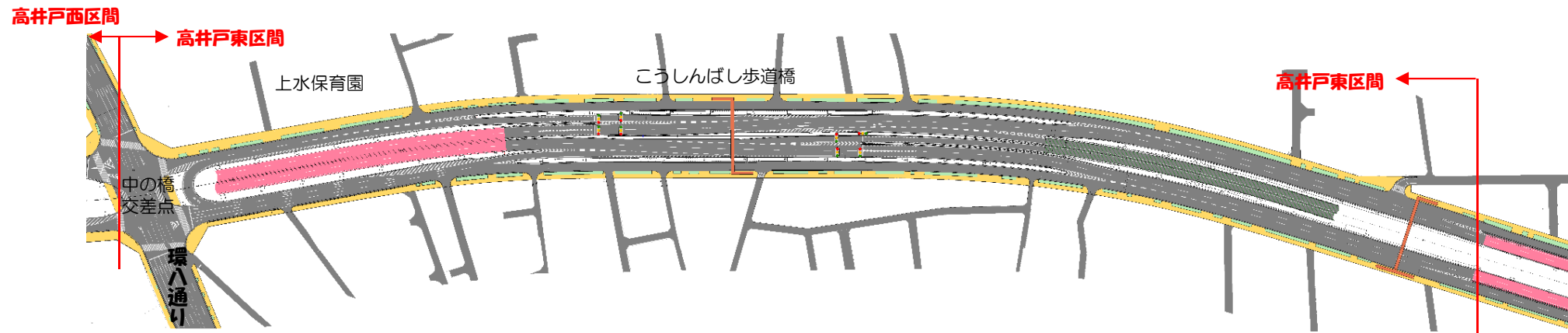
放射第5号線(高井戸東区間)

事業前

凡 例	
	本線車道・側道
	副道
	植樹帯
	自転車空間
	歩行者空間
	中央自動車道橋脚
	横断歩道橋



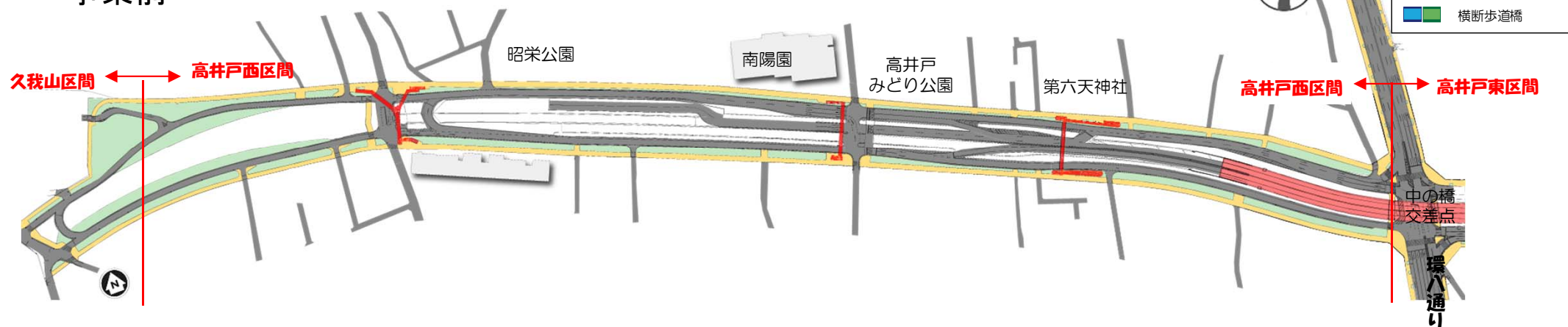
事業後



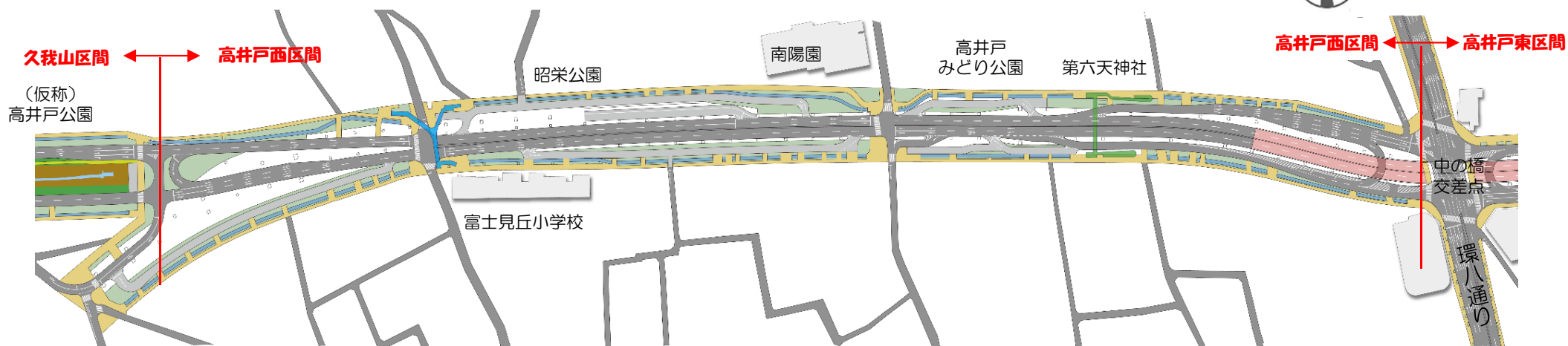
平面図

放射第5号線(高井戸西区間)

事業前

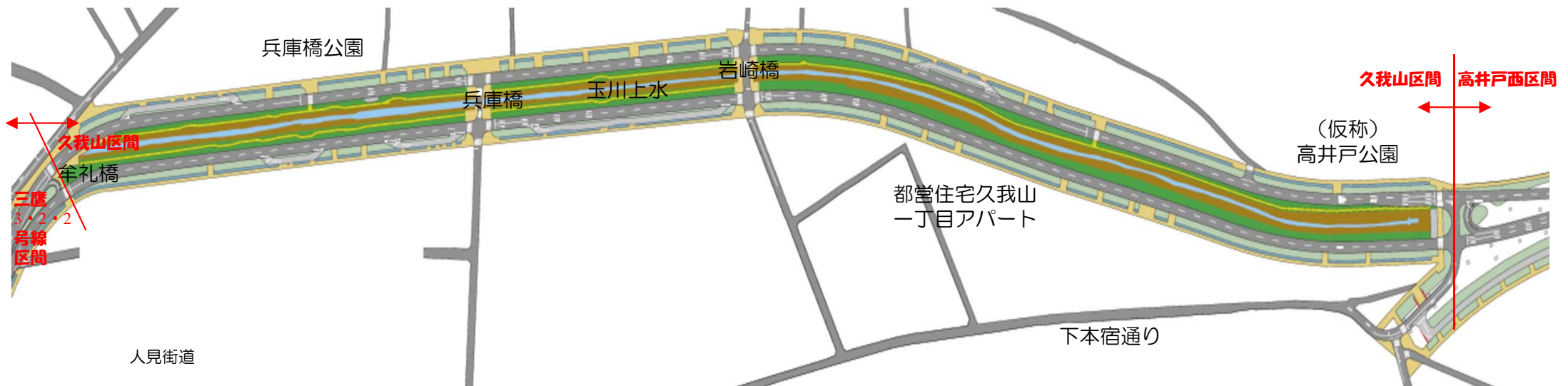


事業後



平面図

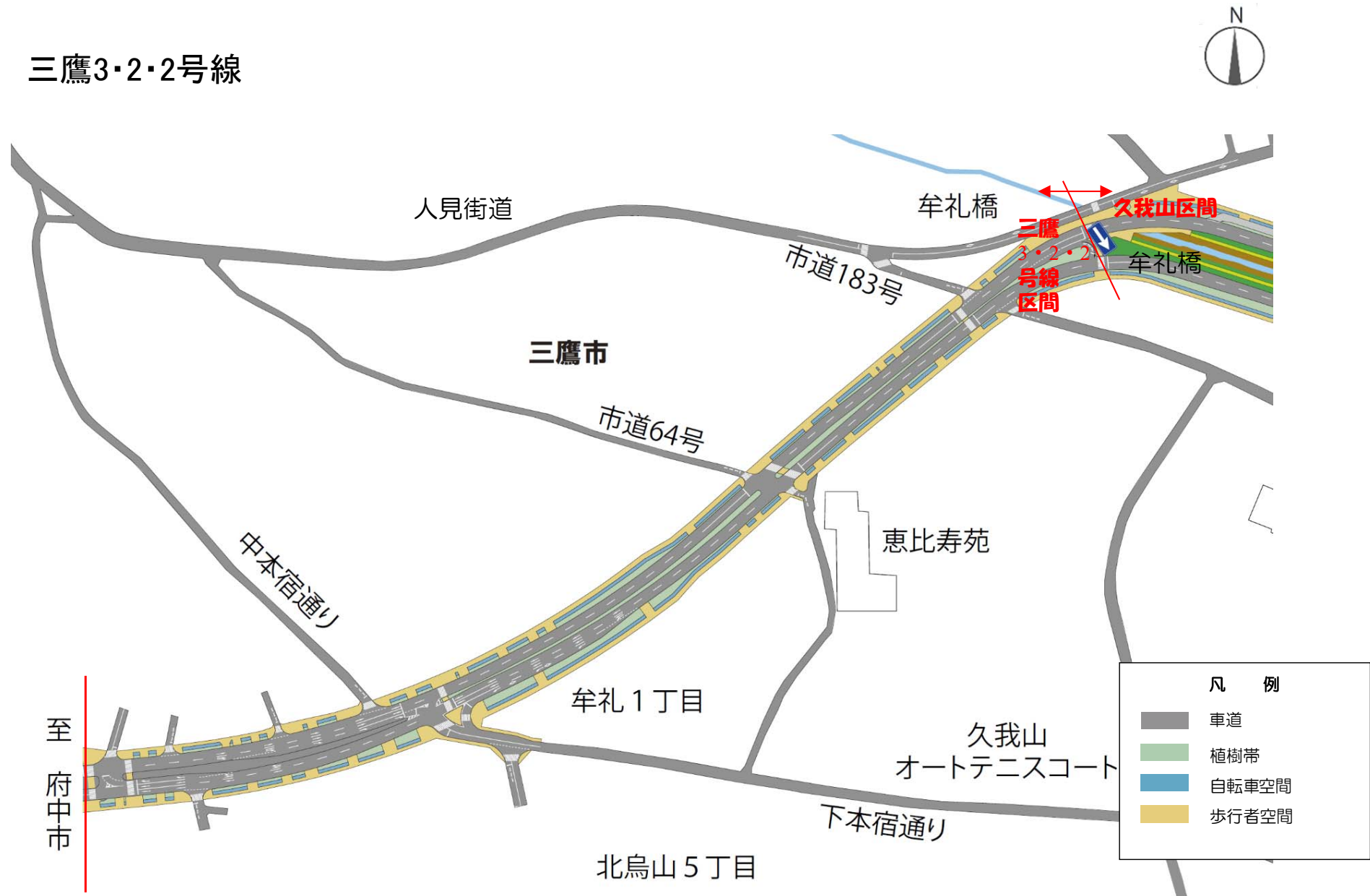
放射第5号線(久我山区間)



凡 例	
	本線車道・側道
	副道
	植樹帯
	自転車空間
	歩行者空間
	中央自動車道橋脚
	横断歩道橋

平面図

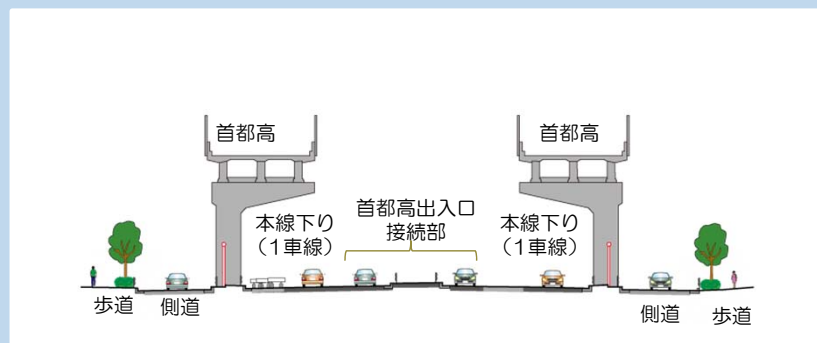
三鷹3・2・2号線



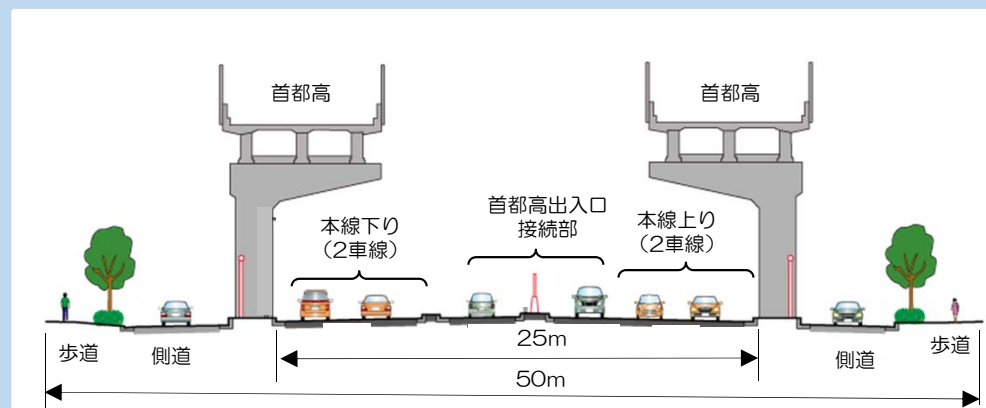
(2→4車線) 改良区間

放射第5号線(高井戸東区間)

事業前

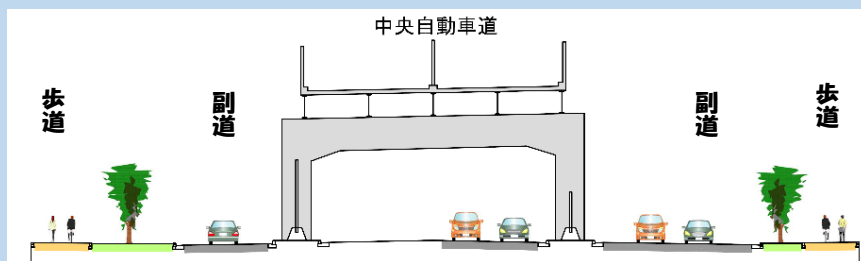


事業後

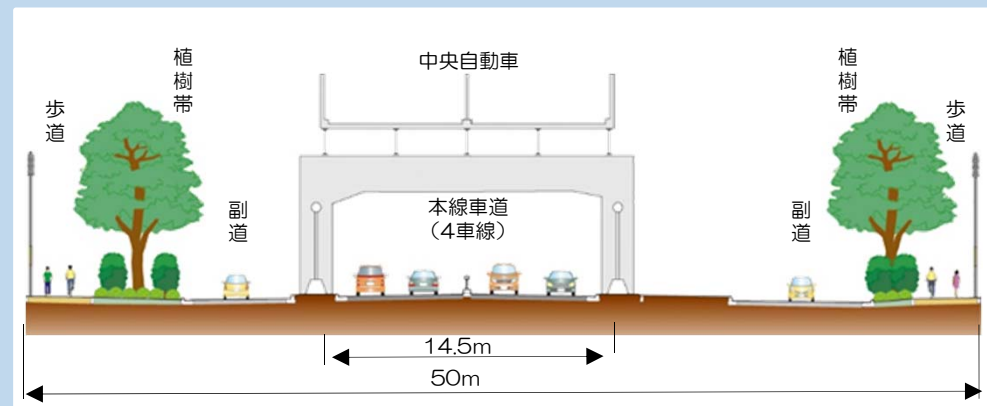


放射第5号線(高井戸西区間)

事業前

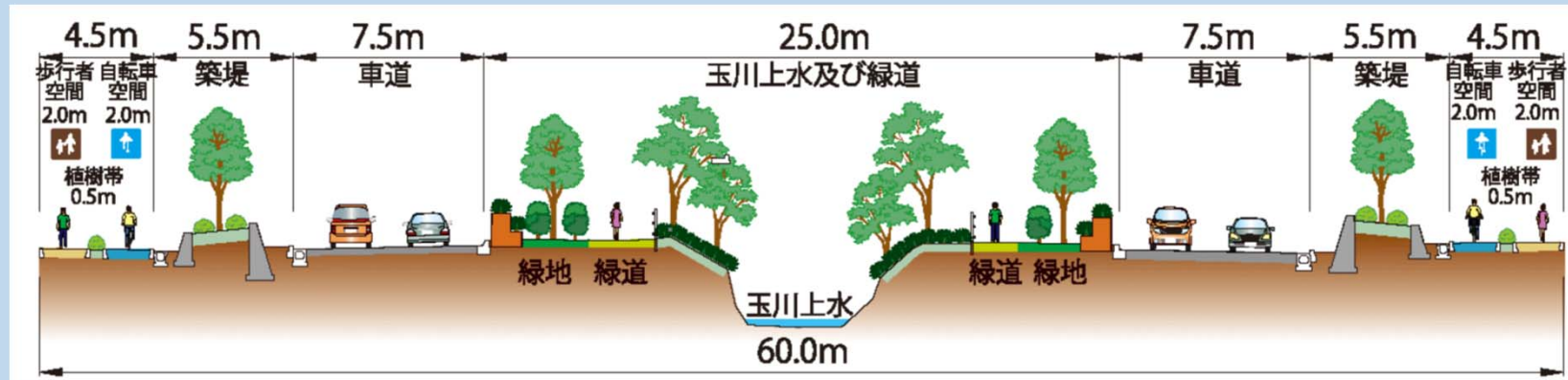


事業後



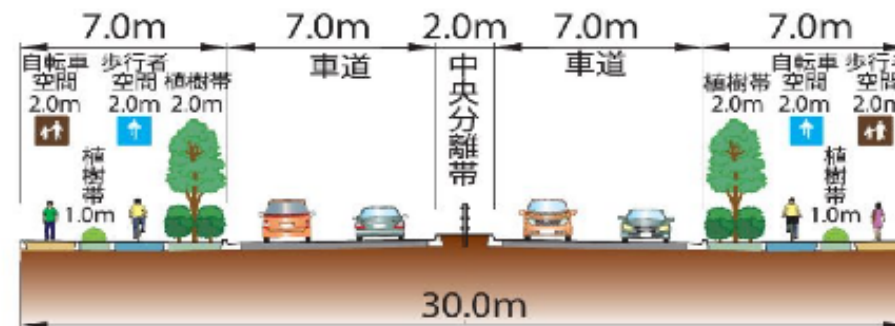
新規開通区間

放射第5号線(久我山区間)



新規開通区間

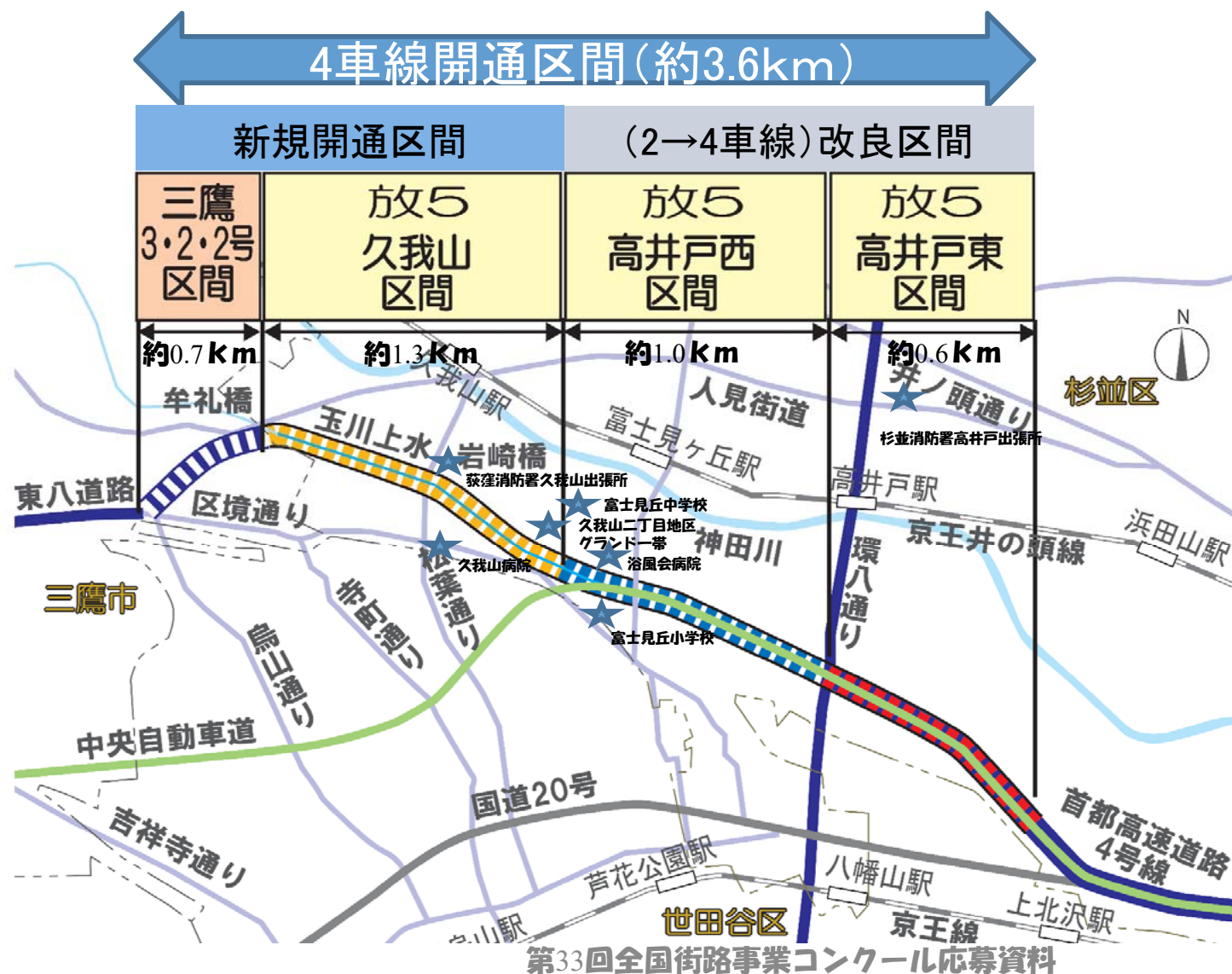
三鷹3・2・2号線



路線全体の進捗状況

(放射第5号線、3・2・2号東京八王子線)

- ◆放射第5号線の4車線化⇒令和元年6月8日完了
- ◆新規開通区間:放5久我山区間で、残工事施工中(歩道舗装、植栽)
- ◆(2→4車線)改良区間:側道、歩道整備及び中の橋交差点改良を今後実施予定



新規開通区間事業写真

(放射第5号線、3・2・2号東京八王子線)

放射第5号線(高井戸西・高井戸東・久我山区間)

放射第5号線(高井戸西区間)

事業前

高速路下



平成26年10月撮影

昭和50年



事業後

高速路下



令和元年6月撮影

放射第5号線(久我山側)



令和元年6月撮影

放射第5号線(高井戸東区間)

事業前

本線車道



平成18年4月撮影

平成4年



事業後

本線車道(4車線)



令和元年6月撮影

本線車道(4車線)



令和元年6月撮影

放射第5号線(久我山区間)

事業前

本線車道



平成17年10月撮影

昭和31年



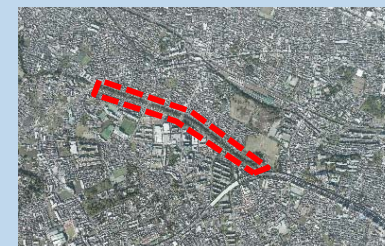
事業後

新宿側



令和元年5月撮影

令和元年



新規開通区間事業写真

(放射第5号線、3・2・2号東京八王子線)

三鷹3・2・2号線区間

事業前

三鷹3・2・2
(昭和54年)



事業後

三鷹3・2・2
(令和元年)



事業後

新宿側



令和元年5月撮影

府中側



令和元年5月撮影

事業効果アピール資料

1) 環境に配慮した幹線道路ネットワークの整備

2) 周辺の幹線道路や生活道路の交通量が減少(注:交通量は平日昼間区間12時間交通量)

開通区間では、開通約1か月後の時点で約13000台の通行が確認された。並行する下本宿通りの交通量が約77%減少した(約10800台→約2400台)。

また、甲州街道の交通量が約5%減少した。(約26100→約24900台)。

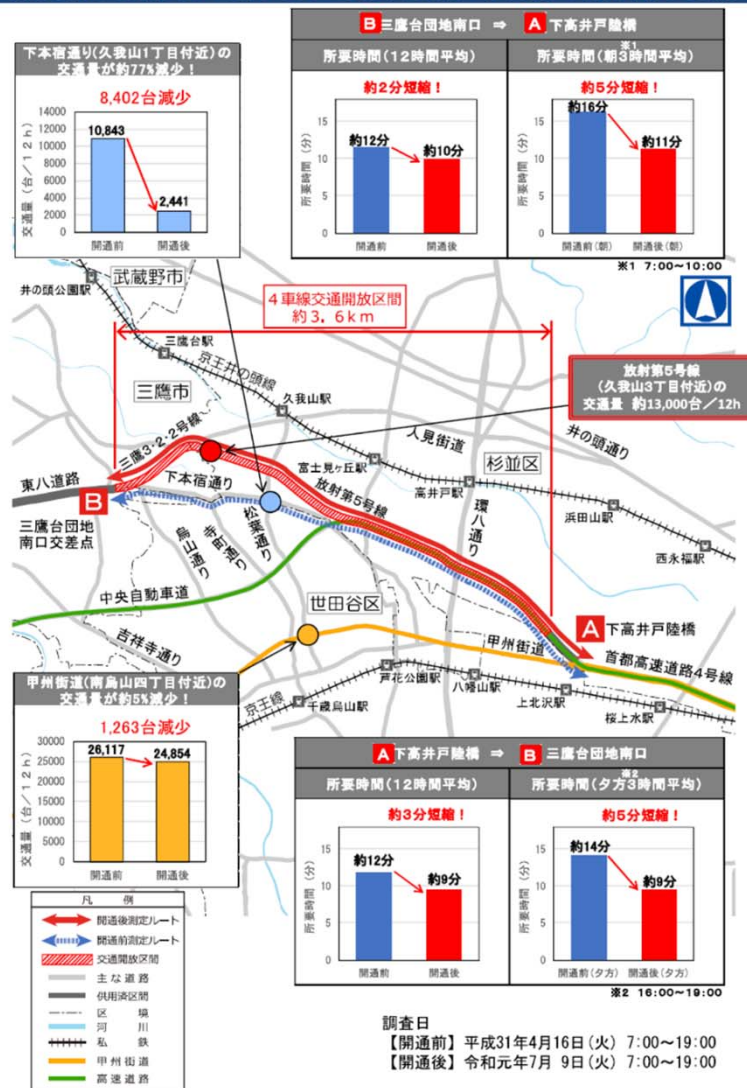
3) 区部と多摩地域のアクセス性が向上

甲州街道から分岐する下高井戸陸橋と東八道路の三鷹台団地南口交差点との平均所要時間は、区部方面へは約12分から約10分(朝の時間帯は約16分から約11分)、多摩方面へは約12分から約9分(夕方の時間帯は約14分から約9分)に約2分から3分短縮され、区部と多摩地域のアクセス性が向上した。

事業効果アピール資料

開通1ヶ月後の利用状況

1.放射第5号線及び三鷹3・2・2号線 開通約1ヶ月後の利用状況 別紙1



開通1ヶ月後の事業者へのアンケート

事業者等	内容
消防署	府中方面・新宿方面に出やすくなりました。(東八道路、環八通りへのアクセスが良くなりました) 特に新宿方面への出勤は時間短縮されています。
バス会社	下本宿通りの通行がスムーズになり、近隣学校の生徒さんからは、遅延がなくなったことについて好評の声を頂いています。
タクシー事業者	甲州街道の渋滞回避として利用しています。行き帰りの移動時間の短縮になっています。
近隣学校	歩道が自転車と区分して整備され、対自転車の安全性は向上したと感じます。 保護者による送迎で通学している生徒もいますが、送迎時の人見街道及び下本宿通りの混雑もなくなりスムーズになったと聞いています。
運送会社	都心から荷物を積んで営業所に毎日26、27台の大型貨物車が来ますが、本当に速くなりました。開通区間を使うことにより30分ほど時間短縮になっています。

開通前 放射第5号線と並行する下本宿通り



平成22年10月撮影

開通後 放射第5号線の本線



令和2年9月撮影

苦労や工夫等アピール資料

1) 地元への定期的な情報発信と地元要望対応 久我山、高井戸西・東区間

◆高井戸地区:「三建・放5かわら版」
平成26年3月～平成31年4月まで計15回発行

◆久我山地区:「三建・放5ニュース」
平成20年9月～平成31年4月まで計23回発行



◆環境施設帯モデル工事によるPR
～実際の整備手法案を現地にて再現し環境への不安を軽減～

- ・平成22年4月 モデル工事完成(兵庫橋西側地区)
- ・平成22年6月 モデル見学会実施
- ・平成24年6月～25年1月 全4回にわたり約180名の住民と話し合い、アンケートを重ね構造決定

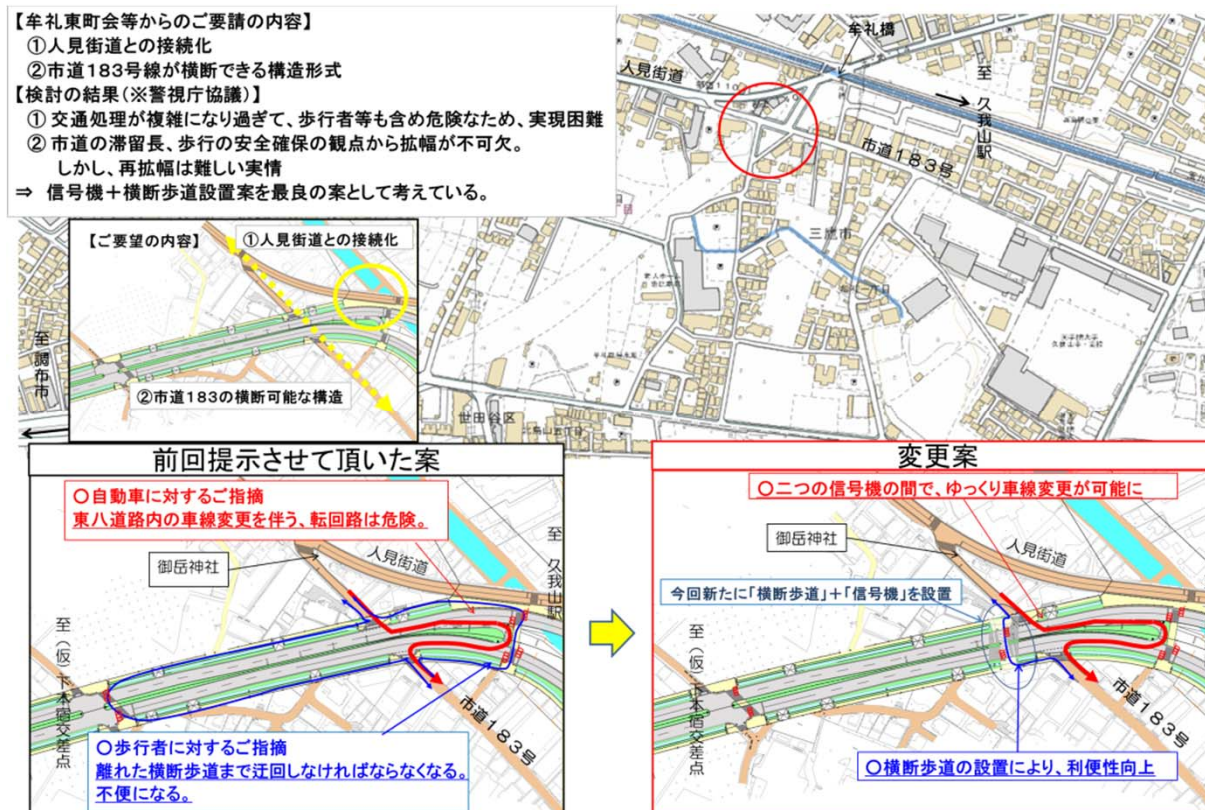


苦労や工夫等アピール資料

1) 地元への定期的な情報発信 三鷹3・2・2号線区間

◆三鷹市道183号分断に係る地元町会との協議

三鷹市道183号線の分断及び人見街道未接続に対する陳情書が提出された。図解資料等を用いた説明を実施し、丁寧かつ分かりやすい図解の資料等を用いて、約3年半にわたり説明をおこなった。



～受賞歴～

◆東京都職員表彰規則に基づく表彰(知事表彰)令和2年2月受賞

◆都建賞都市部門受賞 令和2年6月受賞

～報道資料～

◆TOKYOMX 東京インフォメーション 令和元年5月29日放送

◆毎日新聞 令和元年6月7日掲載

◆ラジエイト 国土と交通に関するイベントアーカイブ 令和元年9月23日掲載

•TOKYOMX



提供： 東京都

放送内容

放送内容

月ごとの一覧へ

MC
紹介

あす6月8日の午後3時、新東横田から市街市南方面が開通します。
 今までは開通するのは第15号と三鷹と三鷹と2.2号線、杉並区高井戸から目黒区大塚まで市街北方面の約3.6キロメートルの区間でです。
 この開通の通るとして、国と市が保有する東横田線を結んでいて通称「東横線」と首都圏新都市線の高井戸インターチェンジが本線の幹線道路となつたり、流石が新技術としていて20年ほど市街市南方面の間に穴が開けてと待たれていました。
 また、電化の利便化はして、市街、自転車専用道、橋を結ぶなど、道路幅間に十分な余裕がとられていたこととなつていました。
 今度の6月8日に開いたのは市街市南方面は元来のこととが早く新開、自動車線の通車や市街市南方面にないといひたい、「20年かかってこくまで、簡単にないしは開いて」「開いた後の通車や市街市南方面と、とどろかちがいていひたい」色んなことがこころざしで、良いことなつたこと」といって開通がせられたました。
 あす6月8日、小笠原町から開通する開通区間は約10キロが開通、午後3時に開通がされた。

関連リンク

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/04/23/07.html>

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/05/15/10.html>

ご意見
ご感想

CR

•每日新聞

都市計画道路

放射5号線、あす開通 計画から73年 緑地帯増やし、全線で／東京



8日に全線開通する放射5号線の下り車道と歩道。玉川上水沿いの緑地をはさんで反対側に上り線がある＝杉竹区久我山で

5号線に直結する「東京八王子線」（通称・東八道路）の三鷹市牟礼1-牟礼2区間（0.7キロ）も開通。杉並区久我山か

ら府中市までがつながった。並行する甲州街道（国道20号）の渋滞軽減につながると期待される。

5号線は国の戦災復興院が1946年に計画決定したもので、千代田区錦町1-杉並区久我山3の総延長15・1キロ。今回の区間は玉川上水の環境破壊を危惧した住民が72年に反対運動を始め、計画がいったん止まった。都は2004年、玉川上水の幅を18メートルから25メートルに広げ、両岸の幅3・5メートルずつに緑地帯を増やそうとした。

・ラジエイト

ラジエイト
国土と交通に関するイベントアーカイブ